

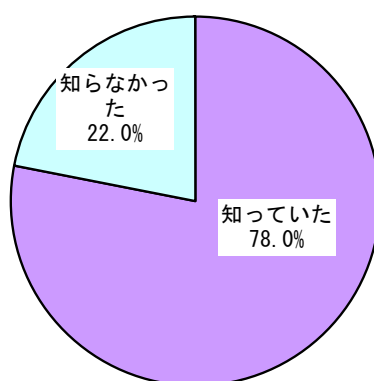
## ④より便利なバスサービスの実現に向けて

- 公共交通の魅力向上に向けて、今後必要と考えられる対策としては、バス停の集約と1枚の切符で都心の電車やバスを自由に乗れる運賃サービスの導入を挙げる意見が多い

### 1. 100円循環バスの認知度

- 100円循環バスは、約8割の来街者が「知っていた」と回答。

図 100円循環バスの認知度  
＜来街者（N=862）＞

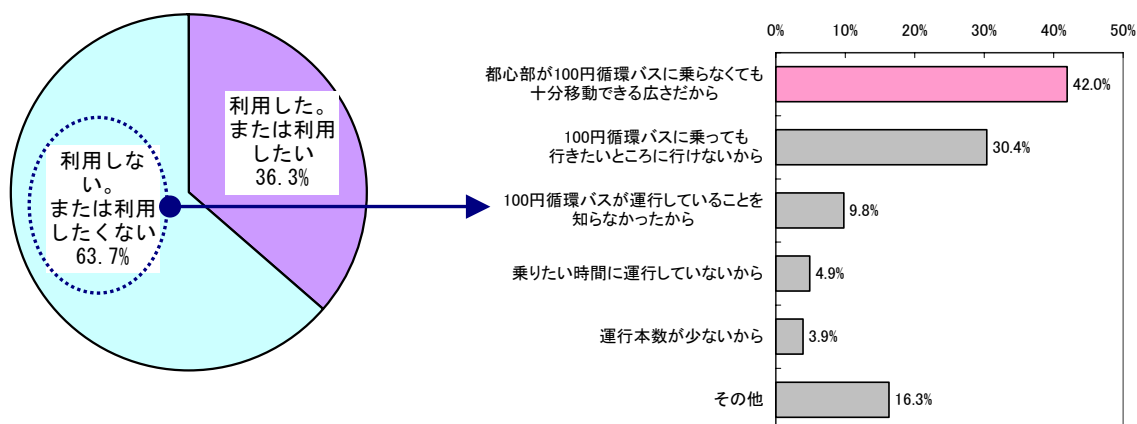


資料：来街者ヒアリング調査

### 2. 100円循環バスの利用の有無とその理由

- 100円循環バスを「利用した。利用したい」と回答した来街者は約4割。
- 「利用しない。利用したくない」理由としては、「都心部が100円循環バスに乗らなくても十分移動できる」（＝元気に歩いてまちを楽しめる人）と「100円循環バスに乗っても行きたいところに行けない」（＝運行経路と目的地との不整合）が多く挙げられている。

図 100円循環バスの利用の有無とその理由  
＜来街者（N=862）＞

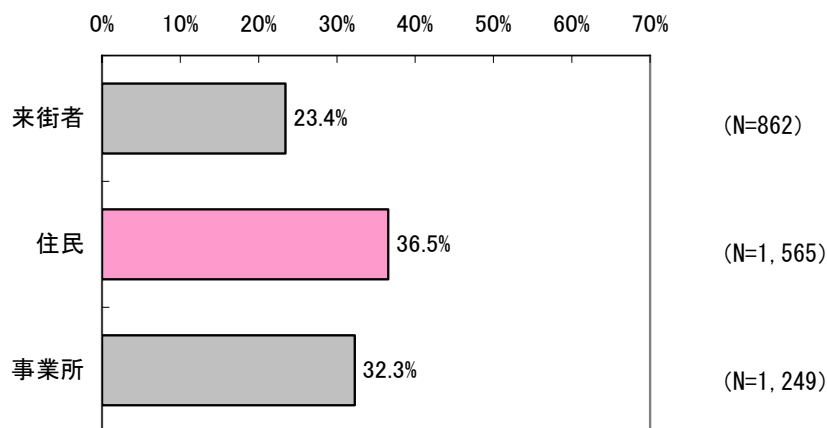


資料：来街者ヒアリング調査

### 3. 社会実験時のまちの印象・変化

- 社会実験時のバス運行状況の変化については、約3～4割の住民・事業所が良い印象として挙げている。

図 「四条通のマイカー規制により、バスがスムーズに運行していた」と感じた意見

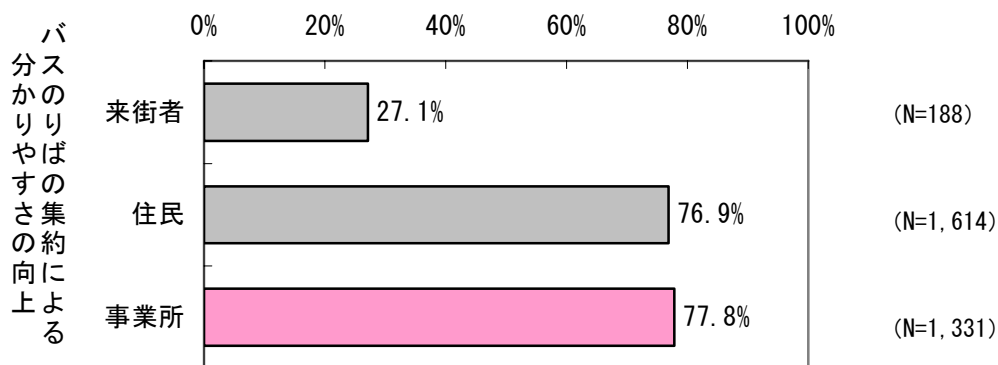


資料：来街者ヒアリング，住民アンケート，事業所アンケート調査 ※無回答を除く

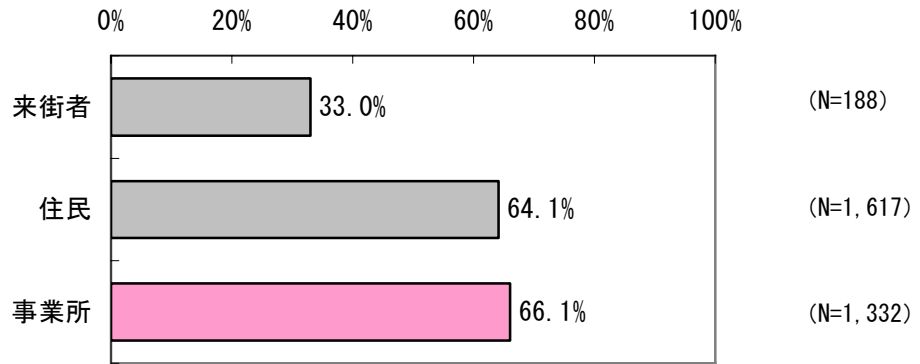
### 4. 今後必要と考えられる対策

- 社会実験時の状況を踏まえ、公共交通の利便性向上に向けて今後必要と考えられる対策として、住民と事業所の約8割が「バス乗り場の集約による分かりやすさ向上」を、次いで約7割が「1枚の切符で都心の電車やバスを自由に乘れる運賃サービスの導入」を挙げている。

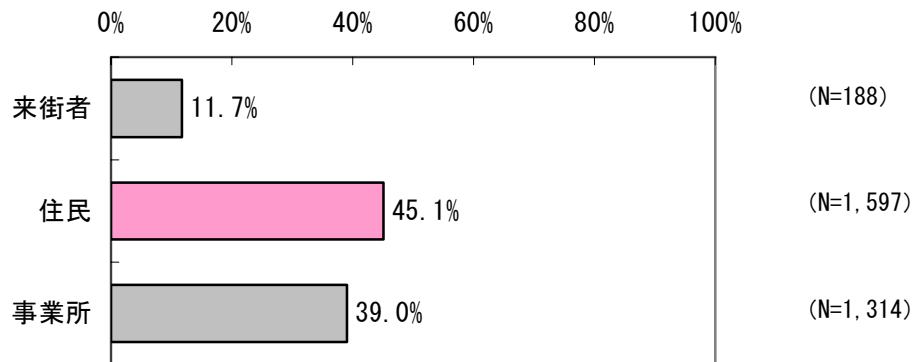
図 公共交通の利便性向上に向けて、今後必要と考えられる対策



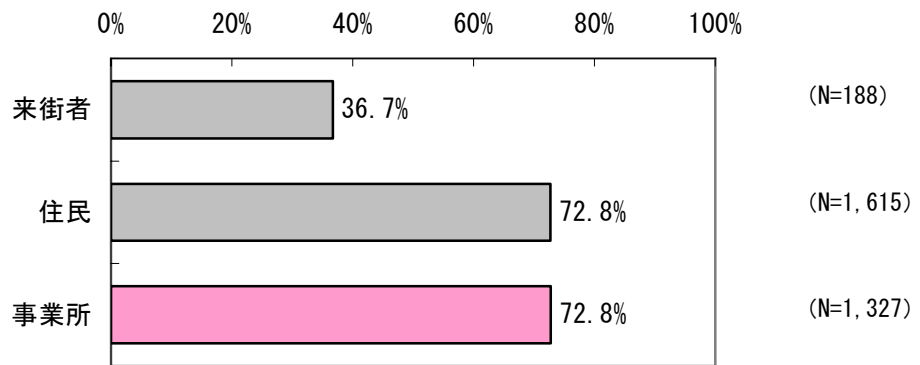
夜間バス増便・運行時間の延長による利便性の向上



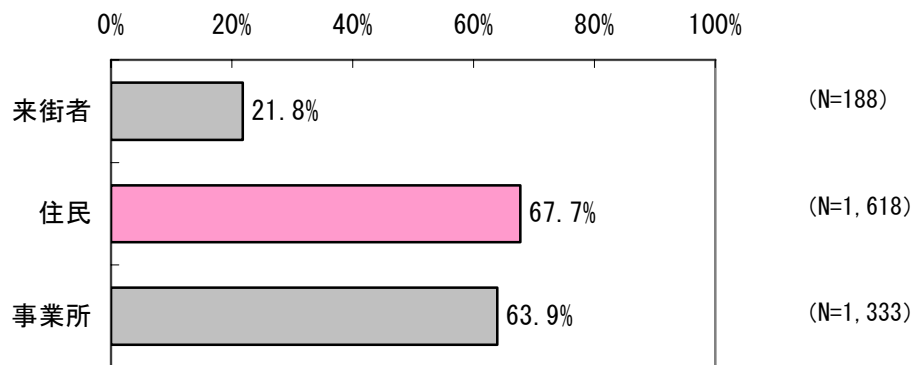
運賃割引等による買物サービスの向上



1枚の切符で都心の電車やバスの導入を自由に乘れる



1000円の短距離移動に便利な循環バスサービスの充実



注) 来街者は、歴史的都心地区への来訪時に路線バスを利用した人のみを抽出した集計値  
資料：来街者ヒアリング、住民アンケート、事業所アンケート調査 ※無回答を除く